

『武庫庄っ子』(生活指導通信)

令和2年度 年間重点生活目標 「気持ちのよいあいさつをしよう」

朝晩の冷え込みが一段と応える季節になってきました。登校時には寒さのあまり、手をポケットに入れたりフードを被ったりしながら歩いている児童が目立ちます。転んでしまった時や車が近づいてきた時の危険性とといった具体例を基に、子どもたちに登下校の仕方を再度指導していきます。

また、暗くなる時間も日に日に早くなってきています。事故やトラブルに巻き込まれないよう下校後の遊び時間や遊ぶ場所について、ご家庭でもう一度確認をしてください。併せて、暗くなると曲がり角で歩行者とぶつかる危険もあります。自転車等に乗る際は、曲がり角では速度を落として左右を確認すること、暗くなったらライトを点灯して乗ることなどご家庭で話し合ってもらえればと思います。よろしくお願いします。

暗くなってから子どもが気を付けなければならない場所とは？

塾や習い事で、帰りが遅くなる児童も多いことと思います。しかし、夜道を安全に帰宅できるかどうかは、その道を何回通ったことがあるか・・・ではありません。普段通り慣れている道でも、日没後になると雰囲気ががらっと変わります。また、いつどこに危険が潜んでいるのかなんて、誰にも分かりません。では、いったいどこに危険が潜みやすいのでしょうか。危険に遭遇しにくい未然防止対策とは何なのでしょう。

【危険が潜みやすい場所】

1. 人通りが少ない、暗い道
2. 路上で止まっている車の近く
3. 電柱や自動販売機などの物陰

いずれも、人が隠れやすい死角が多い場所です。これらの道はなるべく通らず、遠回りをしてでも人通りが多い明るい道を歩くようにするといいかもしれませんね。

【危険に遭遇しにくい対策】

1. 目的地に向かって、早く歩く
2. 防犯ブザーなどを持ち、すぐに助けを呼べるようにしておく
3. 歩きスマホや音楽プレーヤーに夢中にならず、周囲の様子に注意する

危険な目に遭わないようにするためにはどうすればいいのか、今一度考える機会があってもいいかもしれませんね。

◇11月◇

生活目標

くつのかかをときちんとそろえよう

11月の目標は、くつのかかをときちんとそろえようです。1学期には、クラス内で呼びかけ合ったり、靴箱の上に掲示物を貼ったりと工夫する様子が見られました。しかし、登校後や休み時間の終わりには気がゆるみやすく、くつのかかとがそろっていないことが多くありました。2学期は、このことを踏まえ、毎日意識してくれることを期待しています。